



平成 28 年 11 月 2 日

各 位

会社名 日本製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 馬城 文雄  
(コード番号：3863 東証第1部)  
問合せ先：管理本部経理部長 板倉 智康  
(電話番号03-6665-1012)

## 特別損益の計上、平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績との差異、

### 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 2 四半期において特別損益を計上したことに伴い、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損益の計上

##### (1) 事業撤退損（特別損失）の計上

平成 28 年 10 月 5 日に公表しました「米国における新聞・出版用紙事業合弁会社ノーパック社持分の売却について」のとおり、当社が保有するノーパック社持分を売却することを決定し、持分売却損 93 億円を計上しています。また電話帳用紙事業を行う日本製紙USAについても現在事業売却の方向で検討しており、それに伴い固定資産の減損損失等 77 億円を計上しています。

なお、損失額はあくまで現時点の試算値であり、今後の決算手続き等により変動する可能性があります。

##### (2) 投資有価証券売却益（特別利益）の計上

資産の効率化を図るため、当社および子会社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、以下のとおり売却益を計上しました。

###### ① 売却株式

上場および非上場有価証券 30 銘柄

###### ② 売却期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日

###### ③ 投資有価証券売却益

73 億円（うち平成 29 年 3 月期第 2 四半期において 65 億円を特別利益に計上）

2. 平成29年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績との差異  
(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	490,000	14,000	14,000	5,000	43.20
実績値 (B)	475,069	10,488	13,493	△3,871	△33.44
増減額 (B-A)	△14,930	△3,511	△506	△8,871	—
増減率 (%)	△3.0	△25.1	△3.6	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	499,765	8,421	16,196	14,284	123.40

3. 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,000,000	32,000	32,000	18,000	155.51
今回修正予想 (B)	990,000	28,000	28,000	1,000	8.64
増減額 (B-A)	△10,000	△4,000	△4,000	△17,000	—
増減率 (%)	△1.0	△12.5	△12.5	△94.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	1,007,097	22,623	17,123	2,424	20.95

4. 差異および修正の理由

平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、洋紙・板紙の販売数量が計画を下回ったことや、上記「1.」のとおり、事業撤退損を特別損失に計上した結果、前回予想を下回りました。

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、前回予想を上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上